

7月の暮らし

夏の健康を
守る運動

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行長 川西村中 印刷所 星名四郎
 (町長 中村壮吉) 定価 1部5円

人口の動き
 7月1日現在
 男 6,739人
 女 6,928人
 計 13,667人
 世帯数 2,718世帯



七月の行事

- 一日 参議院議員選挙投票日
- 五日 町議会
- 七日 七夕祭
- 八日 川西町連合婦人会
- 十日 交通安全町宣言
- (小、中学校会議(上野))

参議院議員選挙を

終わって

多くの話題を残して選挙が終わりました。過去十五年間に行なわれた五回の選挙を通じて投票率全国平均七〇パーセントをこえたのは一回、おおむね六〇パーセントを上下し、今回も選挙民の関心はせんぜんないのではないかと不安がられました。結果は全国平均六八・三パーセント、県平均七〇・三八パーセント。川西町では平均八二・九パーセントという良い投票率で最高才十六投票区の九六・三パーセント、字桐山、最低才三投票区の七七・六パーセント、上野で権

町づくり

利の行使を終わりました。県の町村部最上位が西福城の八・九三パーセントとなっています。

選挙管理委員会などの投票総参加運動のよびかけやマスコミ、関係団体あげての運動が効を奏したため、よい投票率であるがまた有権者も自覚してきたのだといわれます。川西町の場合いかげんか、一部には棄権防止のムードにより狩出され投票など酷評するむきもあります。国で棄権防止に

- 十日 海の日
- 十三日 郡市社大(千手小)
- 十五日 全国小中学校学力調査
- 十五日 全国中学校学力調査
- 十五日 橋冬季分校の協議会(橋)
- 十五日 川西教員体育大会(川西中)
- 十五日 小千谷ガス竣工式(町長)
- 十七日 十七夜祭
- (市町村対抗及番付大相撲)
- (千手観音)

のみ使用した金額も大きなもので川西町へ二万円交付され町からも出費計三万円が、ピラ、宣伝カー等諸計費につかわれムードをあげました。しかし県の先回の投票率六一・五パーセントから七〇・三八パーセントへ町で七五パーセントの向上というこの数字だけみて手はなして喜ぶことではないのはご承知のとおりであります。投票した各人が真に国の政治に心を寄せ参議院の重要性を理解し、この人ならと投じた一票だったかどうかいま一度反省してみたいものです。なんとなしに人のいうままに投票したのではその一票は投票の意義をもっていないものであることはいちうまでもありません。かえって無責任な投票により国政を害し、われわれの生活を悪くすることになりかねません。ともあれムード的投票率といわれながらも郡内トップの高い投票率を示したのにはすばらしいことでした。投票が終わってもまだ責任が果たされたわけではないのです。次回のすべの選挙がより高い投票率と真の意義をもって行なわれることを願います。川西町八千の有権者のふんきをつながす次です。

参院選開票結果

多かつた無効票

白紙投票地方区一一〇票 全国一一二票

選挙当日の有権者数 八二七〇人

(男三九六一 女四三〇九)

投票者数 地方区 六七一四人

(男三二八五 女三四二九)

棄権者数 地方区 一、五五六人

(男 六七六 女 八八〇)

投票率 地方区 八二・一九%

(男八二・九三 女七九・五八)

投票総数 六、七二四票

有効投票 五、九六五票

無効投票 七四九票

得票数

当選 杉山善太郎 二、七九三票

当選 小柳 牧衛 二、九四一票

吉田 兼治 二、三一票

○全国選出議員

投票総数 六、七二一票

有効投票 五、九八八票

無効投票 七三三票

候補者別得票数(按分票を除く)

△は落選を示す

△藤原道子六五〇△辻 武寿五〇

△日高広為三三七△柴谷 要三

△長谷川 仁二二五△松村秀

逸三三三△横川正市一九六△高山

恒雄一八九△藤原あき一五六△永

木正光一五二△野地浩之二四四

丸茂重貞二二二△加藤シズエ一

五△森八三一一△大谷藤之助

春江七二△北条しゆん八七一△北村みつる六九△野薄 勝六九△大竹平八郎六二△林 塩五七△源田実五七△森田たま五六△豊田雅孝五五△岩間正男五二△大坪藤市四四△占部秀男四三△常岡一郎四二△平島 栄四〇△大谷登淵三九△小田俊与三九△向井長年三六△泉山三六三四△山崎 齊三二△天坊裕彦二五△野々山一三三四△追水久常二四△中村正雄二三△小林武二二△竹中恒夫二一△古谷敬二二〇△鈴木 強一八△上田音市一七△二宮文造一七△黒田寛一六△赤尾 敏一四△喜多一雄一四△三島静江一三△高木寿之三三△坂谷邦彦一三△川野三三△井上なつえ一二△一松定吉一二△中村順造一一△畠山鶴吉一一△田村理一〇△河野義一九△高木俊司九△小西英雄九△小酒井義男八△東隆八△伊藤義寛八△鈴木市蔵七△真鍋儀十七△阿部竹松六△玉置和郎六△光村基助六△古賀 尊五△清水 亘五△林 真治四△浅井亨四△金沢数男四△片山 巖四△玉井庄一四△磯田正則三△吉米地英俊三△安部法俊三△安里積千代二△右井正三三△森島初次郎二△高安 勢二△河野孔明一△小林珍雄一△鬼木勝利一△高田静雄一△岡本文男一△菅野俊夫一(△高瀬夢園△古林昌和△根本清蔵△中村吟造△遠藤 忍△浅野良治△田尻容基△元木嘉一郎△仲子武一 以上九名は得票なし)

農業経営の風

どんな企業でもそれが利益を上げ、また将来への発展の展望を与えるものでなければ長続きするはずはない。こんな当たり前のことをあらためて記す必要は毛頭ないわけだが、それをあえてここで取り上げるのは、現在、共同とか、協業とか、あるいは農家法人とかいわれたる全国の農村に押し進められている「農業経営の新風」がそのうした当然のことをようやくにして転換期農業の底流としてとらえようとしているからである。ところで農林省が昨年末に発表した「協業に資する農業情報収集結果」によると、昨年八月現在の全面共同経営体は二百六十九、部分共同経営体は二千二百七十四、あわせて二千五百四十三にのぼるという。この調査時から一年近くを経過した今日では、その後の一般情勢から考えても、相当数が増加したものと見える。しかもこの調査は部分共同経営が全面共同経営の十一倍を占めている点に注目すべきことがある。その部分共同経営の部門別構成を見ると養豚が全体の四割強、養鶏は十八、五パーセント、果樹十一、五パーセント、酪農九、七パーセント、野菜園芸七、三パーセントを占め大多数がいわゆる農業の成長部門であることがわかる。そしてまたその大半が農地を全く必要とせず、つまり土地の生産性に依存しない養豚、養鶏などに集中していること

に大きな特徴を見出すことができる。事実、各地の共同経営体を実地に視察してのひとつの要点は一戸当たり年収六十万円とか、百万円の農業を想定して在来の土地生産力だけにたよる営農では、そうした目標には容易に到達できなかったとしている農家が多いのである。しかし養豚、養鶏、酪農と比べると従来の耕種農業にくらべて資本装備に格段のものを必要とする。それを解決するものがこの共同経営だということになる。むしろ水田の全面共同、水田、みかんの全面共同経営など、各地にはそれそれすくられた全面共同経営が芽を吹き出していることもわすれてはなるまい。最近の農村労働力の不足がそれに拍車を加えているのも重要なことである。われわれは各地に数千羽、数百頭といった養豚、養鶏、酪農の共同経営が統出していることも知っている。これらは土地の生産力に直接には依存しないで経営しているのである。ある巨大経営の養豚の場合、一億二千万円の投下資本をして年間純益四千数百万円を上げたのである。貸金、金利、えさ代、原価償却などを行なった上での純益であることをわすれてはならぬ。水稻の反収は粗収入で八万円ぐらいが平均になるか。そらだとすれば、一町二反で約百万円の粗収入になるそのなから労賃、肥料、農薬などを差し引いて純益はいくらになるか..... (新生活特信六月号から)

拠出国民年金の給付が開始

拠出国民年金の保険料納入が始まってから早くも一年有余となりました。保険料の納入とともにことし五月からは拠出制による年金給付が開始されております。次に該当する人は役場まで申し出ください。 ①障害年金、障害(片手または片足をなくした程度)を受けた日(初診日)の前日において、初診日の前の基準月(一月、四月、七月、十月)までの引き続く一年間の保険料が納まっているか、または免除を受けている人。 ②母子年金および準母子年金、夫、父または祖父が死亡した日の前日において、死亡日の前の基準月までの引き続く一年間の保険料が納まっているか、または免除を受けている十八才未満の子どもをかかえた妻、祖母または姉。 ③遺児年金、死亡日の前の基準月までの引き続く一年間の保険料が納まっているか、または免除を受けていた両親をなくした児童。 年 金 額 ①障害年金 二万四千円(障害が重い場合は六千円加算) ②母子年金および準母子年金 一万九千二百円(子どもが二人以上のときは二人目以上の子一人につき四千八百円加算) ③遺児年金 一万二千円(児童が二人以上のときは二人目以上の児童一人につき四千八百円加算)

以上のように拠出制年金を受けるには、保険給付のためまえからして初診日または死亡日の前日までに保険料が納まっているか、正しい免除の手続きを受けていないければならないとしております。結果的に、交通事故でケガをしたり急病で夫を亡くしてからあわてて保険料を納めても年金はもらうことはできません。事故が発生してからあわてるのではなく、被保険者ひとりのひとりが自分の立場から確実に法を守り、進んで届け出をし、保険料を納め、新しい法の国民年金をよりよい制度に育てて行きますよう。

未加入が原因で結婚がご破算になったはなし

これは笑い話ではありません。国民年金に加入していなかったばかりに、日取りまで決まっていた結婚がゴール寸前にご破算になったという... ウソのようなホントのはなし。 年金にはいついっていなかったのは青森県十和田市の青年Aさん、花嫁になるはずだったBさんの父親のいい分を聞くと一わずか月額百円の掛金も納められない不心得者には、将来が心配で大切なうちの娘はやれない」というもの。大安吉日を選び晴れてゴールインするはずだったふたりはショックで、Aさんの方は「たかが年金で...」と目もくらまぬもの何ともしがたない。 年金公報より

ある婦人会長さん

ことしの春、K町の連合婦人会長に推されたYさんは、その誠実な人がらとすぐれた指導力が高く評価されている。つねに新しい感覚をもち、いつも会員の身になつて運営してくれるからだ。全会員がYさんを信頼し、一致協力して活動している姿はほおえまい。

ところで、このYさんが最近人知れず考えこむようになった。それは、先ごろ開かれた各市町村の婦人会長会議に出席して以来のことである。その日、会議で問題になったのは、県連に納入する負担金についてのことであった。

社会教育

K町には現在二千八百四名の婦人会員がいる。ところが、これまで県連に届け出てあった会員数は一千七百十名だとのこと、Yさんは、町の会員が実数よりも三百七十四名少なく報告されているという重大なミスに気がついた。

どうしてこんなにも違うのか、Yさんは考え、この疑問を究明した。この結果解つたのは、県連に納入する金は会員一人当たり五円だから、会員数を少なく報告して一千八百七十円の金をうかせていた、ということであつた。

とんでもない、そう思ったYさんは会議の席でこの不正をついた。会長としての良心が許さなことを強調した。が、よその会長さんは、「県内どの町村でもみんなそうしているんですよ」「納める金は少ないほどよいですからねえ」といつてどりの合つてはくれなかつた。そればかりか、こうした報告のしかたをして少しでも会費をうかす会長が手腕家だといわれ、また、会員もそのことを暗に期待している、といわんばかりの口ぶりであつた。

Yさんは考えた。ひとりのひとりのもりあがり地域に婦人会が結成され、この必要感がさらに町や郡、県の連合体へと組織化されたものである以上、一人当たり五円という会費は喜んで投げ出しつてもいいはず、それなのに、わずかの金をうかそうとして会員数をコマ化すとは、いったい、こんなことをしてまで県連に名を運ぶ必要があるのかしら、と。

婦人会だけにかぎらず、ほかの団体にもこういった例は多いのかもしれない。社会にはウラとオモテがあるのだと割り切つて、要領よく生きる者が現代人なのだろうか、次つぎとわいてくるこれらの疑問を、Yさんは道徳観念がマヒしているからだとなげく。

「こうした道徳心の欠如を、婦人会の力で少しづつでもなおしていきたいのです。でも、ほかの会長さんがたのおっしゃることが本心なのだとすれば……」Yさんが考えこむようになったのはこれらのが原因であつた。

婦人会長として、Yさんのこの考えかたはあまりにも純粋でありすぎるのだろうか。十年選手のベテラン会長にいわせると、バカ正直の新米会長しか見えないのだろうか。動脈硬化症だといわれる婦人会の、こんなところにも大きなガンがありそだ。どこかがまががってはいないか。

ある村での対話

牛飼いの青年一やあ、お春ちゃん、またクワツみか、よく精がでるな。紡績の寄宿舎ぐらしよりもやっぱり両親のそばがいいだろ」

操短婦休の娘一そりやあね、十日か半月ぐらいなら骨休みにいいけれど、工場の操短で帰されたのでは家でも遊ばせておいてはくれないし、こつちも肩身がせまいしね。それにおカイクっていえばまるで女の専業主婦にならなにかあちゃんとおばあちゃんとなつた三人でやらなくちゃならぬんだもの」

牛飼いの青年「そうなんだ、養蚕は農家の女性の犠牲の上に成りたつてきた産業ともいえるんだ、もつとやり方を変えなくちゃいけませんよ」

操短婦休の娘「やり方を変えらなかつたら相手がおカイクなんだものにもならないわ。ニワトリのケージ飼ひみたいに機械化するわけにはいかないでしょ」

牛飼いの青年「機械化だけが新しいやり方じゃないよ。その反対を考へてみることも必要だ」

操短婦休の娘「それ、どんな意味？ まるでわかんないわ」

牛飼いの青年「おカイクを自然にかえしてやるのさ。人間の家の中に飼われてちびちびクワの葉をもらつたてたべているのは、おカイクにとつてもありがた迷惑にちがいないよ。それよりも桑園に放しつけてもらつてすきなとき、すきなだけクワをたべることができたらお

赤ちゃんの心

カイコはきつと良いマユをつくるにちがいないよ。稚蚕は三齢まで共同飼育所で育て、その仕蚕を養蚕専門の農家に委託してマユにしてもらふんだ、養蚕専門家は屋外で桑桑育をやるから大規模にしかも年に何回も飼えるんだ。こうすれば農家はおカイクを忘れて、田植えもムギ刈りもやれるし、女の人はずっとおカイクの奴隷いから解放される」

操短婦休の娘「そうならならほんとうにすばらしいわ。紡績をやめよう」とつ大事なことがあるんだ。そしてこれがまたおれたち農家にはたまらなくみりよく的なことなんだ。それはね桑園の団地化だ、しかも株間を広くあけてそこへ牧草をまくのだ。これで牛を飼う。集団桑園に参加している人たちが乳牛を百頭ぐらい共同経営で飼うようにする。おカイクにしたって乳牛にしたって技術のすぐれた人が何人かで専門的に委託管理するんだから、そうならたらお春ちゃんなんかは台所も裁縫の家事だけやっていれればいいことになる」

操短婦休の娘「それは少しうますぎるわ、それにあんな台所でお炊事する気になれないわ」

牛飼いの青年「それ、それ、おれはお春ちゃんにそのことをいひさせたかたなんだ。新しいおカイク飼いだつて、牛飼いの計画だつてこれは部落中がその気になつてくれなければできない相談だ。おれは少しでも話のわかる人から説得しているんだが一年かかる覚悟だよ」

保健婦室

赤ちゃんは一日の大部分がすいみんです。次がお乳を飲んでる時間です。したがって、寝て、飲んで、泣いて、排泄して……というふうなのんきな自分勝手な生活をしているようにみえます。しかし、おかあさんから見ると、じきにこわれてしまひそうな宝物に思えるでしょう。ことに初子ですと、わずかの泣き声にも気がかりです。またよく寝れば寝たで心配のたねになります。

赤ちゃんの身体と心とはまだはっきり分離していませんが、中でも心に深く結びつく点について二三述べてみましょう。

(1) 泣いて困る赤ちゃん

「泣く」ということは、赤ちゃんの本能ですが、泣いたときに受けたあつかひかたによつて、赤ちゃんは泣けば泣いてももらえないのだ」ということをだんだん学んでいきます。たとえは、泣いたとき



にすぐ抱き上げるようなことをすると赤ちゃんは泣けば泣いてももらえないものということを学ぶのです。お乳にしてもそうです。始めは飢えという不愉快な感じから泣くのでしょうが、それによつてお乳を与えられると、泣けばお乳がもらえるということを学んでいます。逆にいえば、泣いても抱いてもらえないような環境にある赤ちゃんは、始めはずいぶん泣く赤ちゃんでもだんだん泣かなくなるのが普通です。生まれて間もないころ激しく泣く赤ちゃんの原因ははっきりいえますが、そのときのあつかひかたによつてそれが赤ちゃんの身についてしまふということがいえます。そのわかれば、泣くとすぐ抱き上げたり、お乳をわかせたりしたか、あるいは赤ちゃんのようすを観察するという態度をとつたかということでしょう。赤ちゃんに泣かれるということは決して心おだやかなことではありません。ことに神経質なおかあさんですとちょっと泣いてもいたたまれなくなつてだつてです。そして「よく太つて、お乳もたっぷりよつたが、だつこしな泣きやまなくて」とこぼすかたがどんなに多いでしょうか。

むやみに泣くときは必ずお医者さまに見てもらつて、それで何んの原因もなかったらほうっておくことが泣かない赤ちゃんを作る一番の条件です。

発車オーライ

青年学級生へ待望の車

上野で医院をしている藤巻力雄(六十八才)は「若い人たちの研修の途中に故障でもしたら患者に申しわけないと、先きこる新車を購入したばかり。

同コースは六人の女性を含む二十三人の学級生たちが、それぞれ自分の家の耕運機の運転や構造を勉強しようと、これまで借りものの車で練習を続けており、試験を受ける者は百パーセント合格するという成績を示している。

藤巻さんは「昔から若い連中を好きだし、この際大いに運転を覚えて貰わなくては」といっている。



贈られた自動車と
藤巻さんご夫婦

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- | | | |
|-------|------|------|
| 相崎美佐子 | 貞雄長女 | 沖立 |
| 内堀 幸夫 | 寅二男 | 発電所通 |
| 若山 典子 | 登二女 | 新町新田 |
| 樋口三枝子 | 茂長女 | 上野 |
| 丸山 京子 | 郁平二女 | 根 深 |
| 村越 富代 | 計助長女 | 野 口 |
| 片桐 秀幸 | 秀二長男 | 木 落 |
| 小林 貴司 | 元一三男 | 中仙田 |
| 星名 弘行 | 恭二長男 | 越ヶ沢 |
| 岡島智恵子 | 晴雄長女 | 大白倉 |
| 佐藤 睦子 | 利雄長女 | 霧 谷 |
| 高橋 勝子 | 健次長女 | 室 島 |

昇天—御めい福を祈る

- | | | |
|-------|-----|----|
| 高橋 心一 | 中島町 | 五三 |
| 平野 喜平 | 四郎兼 | 七一 |
| 数藤 タツ | 沖立 | 八五 |

町の掲示板

保護司任命される

任期満了に伴う保護司の改選について、かつて町長の推せんを受けていた次の七氏が五月二十五日付をもって厚生大臣の委嘱を受け保護司に任命された。この世から犯罪をなくし、住みよい社会を作ることとを任務とし、任期は二年である。

- | | |
|-----------|-------|
| 寺尾 小海 | 大成氏再任 |
| 中央町 太田 | 長栄氏再任 |
| 上野 渡辺 | 満磨氏再任 |
| 仁田 田中 | 利八氏新任 |
| 下原 田中 | 久之氏再任 |
| 室島 半田 | 源治氏再任 |
| 岩瀬 金子権三郎氏 | 再任 |

- | | | |
|--------|------|----|
| 川上新太郎 | 新町 | 五六 |
| 上村 セン | 下平新田 | 六七 |
| 五十君 辨平 | 野 口 | 七〇 |

たかさご—御円満に

- | | | |
|----------|-----|-------|
| 新町 市川 | 松男 | 中屋敷 |
| 新町 小島 | 正子 | 堀の内から |
| 新町 星名 | 隆 | 発電所通 |
| 新町 村山 | 栄 | 高山から |
| 新町 上村美和夫 | 上 野 | |
| 新町 富井 | 和子 | 上野から |
| 新町 馬場 | 良三 | 中央町 |
| 新町 橋野 | 正枝 | 下船渡から |
| 新町 村越 | 文夫 | 野 口 |
| 新町 高橋 | ヨネ | 大白倉から |
| 新町 高橋又一郎 | 高 倉 | |
| 新町 高橋 弘子 | 高 倉 | 倉から |
| 新町 小川 | 利芳 | 赤 谷 |
| 新町 小川 | 睦子 | 赤 谷 |
| 新町 桑原 | 哲之 | 桐 山 |
| 新町 小山 | 山ニシ | 栃ヶ原から |

肢体不自由者の無料診療

手や足の不自由な人のため、次により無料診療(整形外科)および更生相談を開催いたします。ご利用ください。

- 期日 七月二十五日(水)
- 時間 未定(申込者に連絡)
- 場所 県立十日町病院
- 医師 新潟大学病院より二名
厚生相談所医師
- 科目 整形外科に限る
- 申込 川西町役場社会係・至急

封筒募金にご協力を

七月は「社会を明るくする運動」月間です。この月間事業のひとつとして封筒募金を実施しており

ます。趣旨と警察のうえ、なにぶんのご芳志をお願いいたします。

社会を明るくする運動

この運動はすべての国民が犯罪の防止と犯罪をした者の更生について理解を深め、進んでそれぞれ立場において力をあわせ、犯罪のない明るい社会を築くことを目的として全県一致で行なうものであります。

石油開発の見とおし

平見の石油試掘は現在ボーリングの深度二〇〇メートルでこの間若干のガス気味をみたが採取とまではいかなかった由。さらに三〇〇メートル掘り下げて二五〇メートルまで到達して有効指数とならなかつたときは発掘を中止し、その施設を撤去するといわれている。しかしながらこの辺は柏崎油田の推谷層の構造体とみられ最後の三〇〇メートルに期待がかけられている(七月六日現在)

編集後記

終戦まで梅は軍隊の梅干用として需要があつたとか、今は梅酒、梅ジュースで生産が追いつかずこのしもまたものすごい高価で一粒何円ともいうすっぱい話。時代の流れである。それではいっちゃん梅を植えて成金といきますか!! 残念ながら植えて十年もたつた収入がないような。桜桃も一つまみ百円也、五年もたつた実がなりません。しかしこんなことはかりいってはいけません。梅雨のうつつうしさもここで吹っ飛ばして明るい生活設計を夢みたいものだ。

防犯映画会

七月二十四日 夜八時 小学校

七月二十五日 夜八時 上野小学校

七月二十六日 夜八時 仙田中学校

1.裸の友情劇映画 2.なかよし特急劇映画 3.手鹿の冒険漫画

入場無料 川西町防犯組合

郡市の社教大会

オ八回中魚沼郡十日町市社会教

育大会は、七月二十二日(日曜日)に大手小学校で開催される。時間は午前九時から午後四時まで。午前に「老人は愛される」と題する講演がある。講師は伊那市染生学園長の小林文成氏。午後は十分科会に別れ、郡市内で社会教育を行なっている現場のリーダーがそれぞれ実践発表をする。大会のまとめ(指導と講評)は県教育庁社会教育主事の桑原芳太郎氏。

この大会は、郡市内の社会教育関係者や一般の人たちが集まり、講演や実践発表をきき、日ごろのようすを話しあい、今後の活動や暮らしの向上に役立てることが目的。

ぜひ参加していただきたい。

☆☆☆☆

梅のまろやかな実が熟するころとなった。昔は子どもの青梅中毒が問題になったが、このころ聞かない。子どもにすっぱい梅にかわるよいものが多い。多くある世の中だからか